



団体交渉  
ポイント

# 安全確保のため現地での教育を強く求める

## 申3号「ディスクブレーキ凍結対策」及び「ディスクブレーキ凍結に対する取り扱い」に関する緊急申し入れ

新潟地本は12月18日、申3号・「ディスクブレーキ凍結対策」及び「ディスクブレーキ凍結に対する取り扱い」に関する緊急申し入れの団体交渉を行いました。

ディスクブレーキ凍結確認のための小移動を車掌の入換合図により行うとする支社側に対して、現地での教育や根本的な凍結防止対策の実施などを求めて交渉に臨みました。

### 当該全社員に対する現地での教育については実施を否定

- 現地に行かなくても、指導担当が作成した資料を確認して行ってもらおう
  - <組合> 資料だけで車掌の安全は担保でない。現地を見ずにイメージすることは難しい
  - <支社> 現地を見ても100%の教育となるわけではない
  - <組合> 夏と異なり降積雪時の作業には大きなリスクを抱える。流雪溝がある個所もあり命に関わる危険も考えられる。冬だからこそ現地での教育を強く求める
- 初めての作業は誰もが最初は不安だが、定例で行うので数回で慣れてくると思われる
  - <支社> 慢心よりも不安があった方が、緊張感があって良いのではないか
  - <組合> それは違う。不安は少しでも取り除き自信を持って作業にあたるべきだ

### 輸送障害防止の対応として実施 車両側の対策は頭打ち

- ディスクブレーキ凍結の有無を早い時機に知得することで輸送障害の未然防止や影響の軽減を図るために、車掌の入換合図による小移動を実施する
- 天候に応じたその都度の手配は車掌も当直も間違いの元であり、凍結の心配が無い日も含めて一律で実施する方が車掌には一番良い
- E129系のディスクブレーキ凍結の抜本的な防止対策は今冬期にはない
  - <組合> 今年に始まったことではない。来年もまた同じく「対策はない」という回答にならないように凍結させない対策の検討を求める
  - <支社> そこは考えていきたい



支社側は、実施間際の周知により現場を混乱させたことについてお詫びするとしながらも実施するとの姿勢を変えませんでした。

降積雪下に初めての場所で初めて行う作業であることから、実施するのであれば現地での教育を実施するように強く求めましたが支社側はこれを否定、交渉は対立に終わりました。